

# 第7回世界のウチナーンチュ大会連携イベント

※大学コンソーシアム沖縄 後援事業（保健医療看護に関心のある方向け）

## 第2回世界のウチナーンチュ・ナースデイ

The 2nd World Uchinanchu Nurse Day

世界をつなぐ  
ナーシング・スピリッツ  
「パンデミックを越えて」



参加申し込み【Microsoft Office365 Forms】

<https://forms.office.com/r/pVJ4B5Xa1m>

※新型コロナウイルス感染症の状況により会場の人数を制限する場合があります。その際は、オンラインによる参加をご活用ください。

- ・日時：2022年10月29日（土）  
午前 9:30 ~ 12:45
- ・場所：沖縄県立看護大学 那覇市与儀1-24-1
- ・主催：第2回世界のウチナーンチュ・ナースデイ実行委員会  
公立大学法人沖縄県立看護大学、公益社団法人沖縄県看護協会、  
一般財団法人沖縄県看護学術振興財団、沖縄県立看護大学同窓会
- ・後援：大学コンソーシアム沖縄
- ・参加者：看護職者、看護学生、保健医療看護に関心のある方など  
※参加は無料  
※オンラインによる参加も可能  
(詳細については、沖縄県立大学HP)



・問い合わせ先：  
公立大学法人沖縄県立看護大学  
学務課

TEL：098-833-8800

E-mail: daigakuinjimu@okinawa-nurs.ac.jp

時間	内容	場所
9：30～9：40	開会	教育棟 4階 大講義室
9：45～11：15	基調講演	教育棟 4階 大講義室
11：25～12：25	ゆんたくテーブル (分科会・小会議)	教育管理棟 各講義室
※「ゆんたくテーブル」については、詳細が決定次第、沖縄県立看護大学ホームページにて随時公開予定。		
12：30～12：45	閉会	教育棟 4階 大講義室

## テ ー マ

国際保健の仕事を通して  
見えてきた、  
看護職の行う  
医療保健への貢献



◆ 講師：藤井 まい  
(保健師・看護師・養護教諭)

## 略 歴

- 1994** 琉球大学医学部保健学科卒  
**1996** 沖縄県米軍基地内留学  
 (ミシガン州立大学大学院修士号)  
 (その後東京大学大学院医学系研究科で、保健学修士、  
 博士号、国際交流基金フェローとしてマレーシア科学  
 大学大学院医学系研究科留学)
- 1994 - 2006**  
 病棟看護師 (沖縄県)  
 県保健所保健師 (兵庫県) 保健アドバイザー、  
 JICA健康管理員 (マレーシア)、大学教員 (日本)
- 2007**  
 世界保健機関 (WHO) 本部 (スイス)、  
 南東アジア地域事務所 (インド)
- 2014**  
 JICA専門家(日本、ラオス、スーダン、フィリピン、  
 ネパール)、
- 2019** 大学教員 (日本)
- 2021**  
 アジア欧州財団 (シンガポール) でコロナウィル  
 ス感染症対策のため途上国への物資配布に携わる。

## 講演の概要



私の最初の看護師としての経験は沖縄県でした。その後、機会があって、世界の様々な国で仕事をしましたが、世界に目を向けてみると、日本とは全く違う状況が広がっていることがわかります。

近年の新型コロナウイルス感染症の世界的な蔓延で看護師の役割や重要性が多くの国で再認識されていると思います。世界の困難な状況を少しでも改善するため、看護職ができることはたくさんあり、貢献することは大きな意味があるのではないのでしょうか。今回は皆さんが、沖縄から世界へ目を向けて考え、行動していくきっかけになればと思います。